

小型機械式攪拌による深層混合処理工法

スマートコラム工法[®]

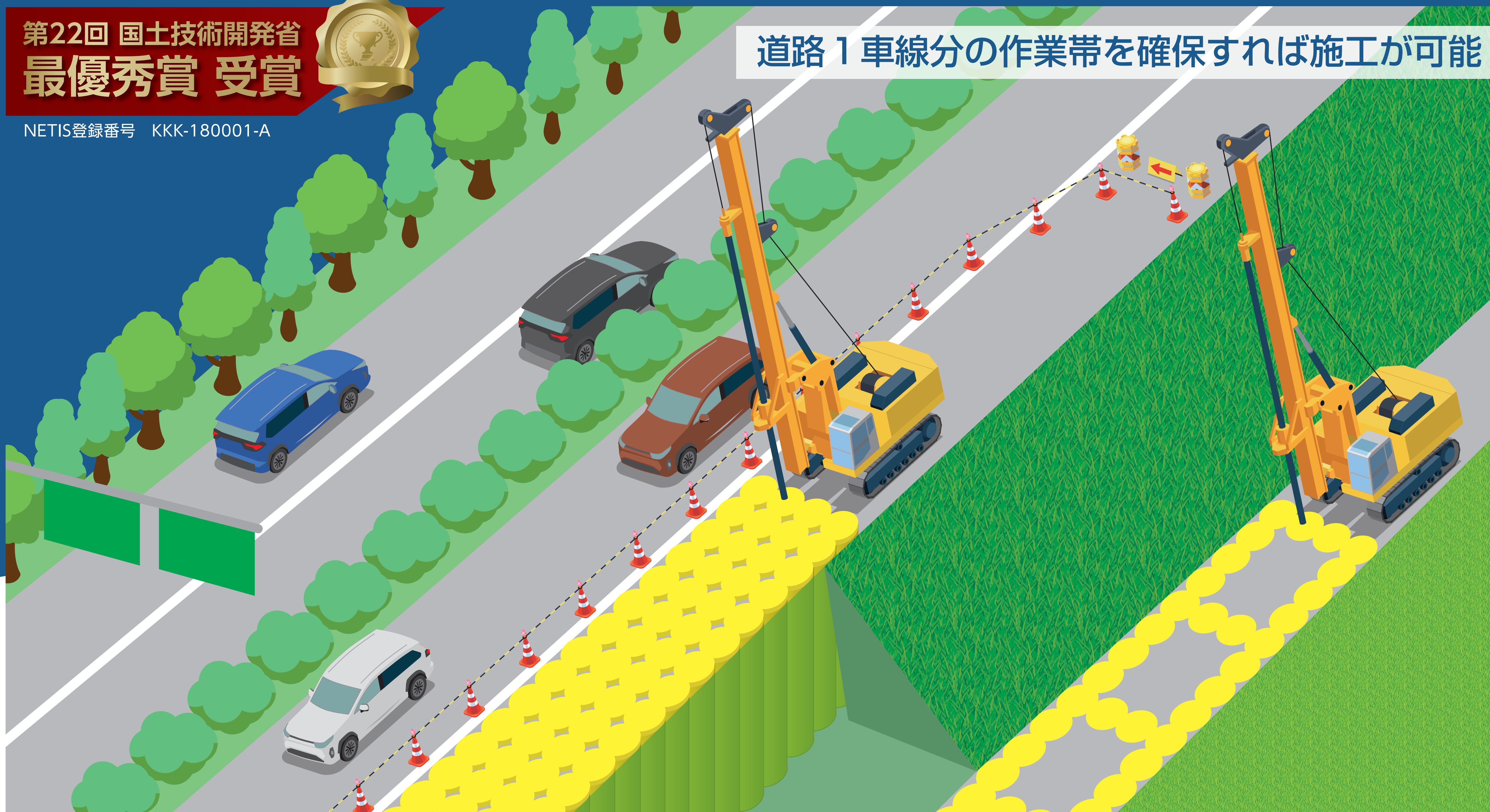
狹隘地に対応した地盤改良工法

第22回 国土技術開発省
最優秀賞 受賞

NETIS登録番号 KKK-180001-A



道路1車線分の作業帯を確保すれば施工が可能



小型機械でも大型機と同様にラップ施工で地盤改良壁を構築できる地盤改良工法です。狹隘な施工ヤードでも、TOFT工法[®](耐液状化格子状地盤改良工法)や止水壁、滑り抑止壁、沈下抑止杭などを施工できるので「片側規制した2車線道路」、「橋台背面の盛土部」などの補強工事に適用可能です。

特殊攪拌翼による鉛直精度大幅向上により壁状の地盤改良が可能

スマートコラム工法[®]は、特殊攪拌翼により小型機械でも高い鉛直精度を確保できるため、連続地中壁を構築し、ため池や海岸堤防など、狭所で地耐力の低い場所での堤体の円弧すべり抑止や、液状化対策などの補強対策が可能です。



特殊攪拌翼により盛土構造物にも対応

大型機と同等の鉛直精度と改良品質

- 共回り防止翼に特殊スタビライザーを追加することで掘削時の孔壁未改良地盤から受ける抵抗を鉛直変位抑制力に変え、改良体鉛直精度を向上
- 共回り防止翼を2段とすることで、高い攪拌性能を確保

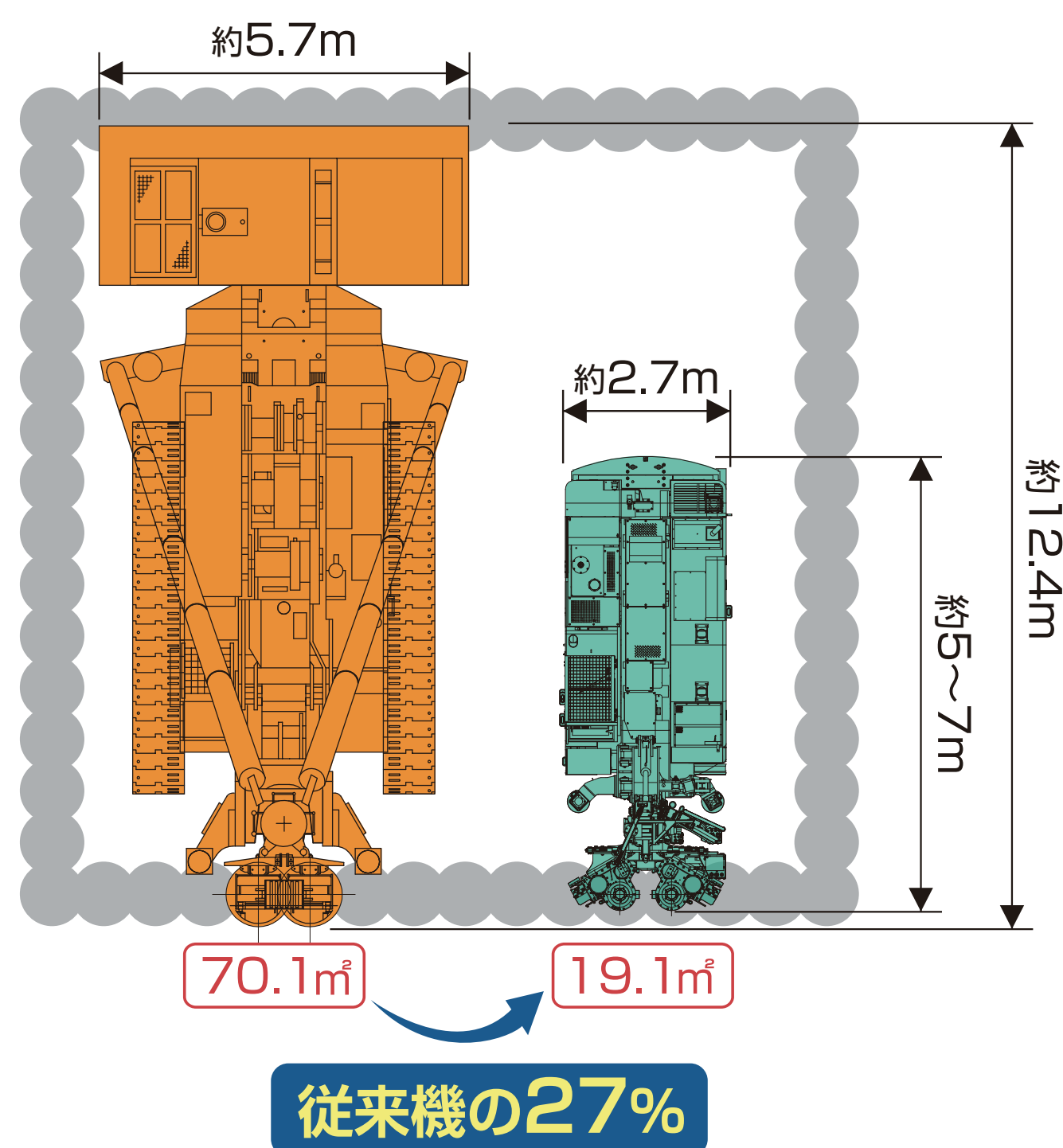
硬質地盤からなる盛土構造物にも対応可能

攪拌翼の形状を切り欠きのある円錐型とすることで、軟弱地盤のみならず、堤防など転石等の混入が懸念される硬質地盤から成る盛土構造物でも掘削攪拌が可能



従来機の
27%の
占有面積を
実現

従来の大型機のような大掛かりな機械組み立て用地や、数多くの機材運搬車両は不要です。



従来機の27%